

リハビリテーション教育評価機構
2022年度評価認定審査 書面審査書類

自己点検評価報告書

北海道科学大学

1	基準 I-1	教育理念・目標・方針
---	--------	------------

◆判定基準

- ① 教育理念・目標・方針が明文化・公表されている
- ② アドミッション・カリキュラム・ディプロマポリシーが明文化・公表されている
- ③ アセスメントポリシーが明文化・公表されている

◆自己点検評価 ○印

- 1 基準を満たしていない
- 2 ①を満たしている
- 3 ①を満たし、②③のどちらかを満たしている
- ④ ①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

①教育理念・目標・方針、②3つのポリシー、③アセスメントポリシーが整備され、大学ホームページに公表されている。
以上から①②③全てを満たしているとした。

◆自己評価の根拠となる資料名と表示ページの記入（資料は添付）

- ①：教育理念・目標・方針
<https://www.hus.ac.jp/about/info/spirit/>
- ②：アドミッション・カリキュラム・ディプロマポリシー
<https://www.hus.ac.jp/faculty/health/pt/ap/> (AP)
<https://www.hus.ac.jp/faculty/health/pt/cp/> (CP)
<https://www.hus.ac.jp/faculty/health/pt/dp/> (DP)
- ③：アセスメントポリシー
<https://www.hus.ac.jp/about/info/assessment-policy/>

◆自己点検評価結果における課題と対応

全基準を満たしているが、理学療法を巡る社会的ニーズの多様化、ならびに専門性の広範化や深化に対し、教育目標の適合性の確認に努めたい。

2	基準Ⅱ-1	学科・専攻の長
---	-------	---------

◆判定基準

- ① 学士の学位を有する者、またはそれに準ずる学識・教育・研修修了者である
- ② 修士の学位を有し、必要な教育・研修修了者である
- ③ 博士の学位を有し、10年以上の教育経験と必要な教育・研修修了者である

◆自己点検評価 ○印

- 1 基準を満たしていない
- 2 ①を満たしている
- 3 ②を満たしている
- ④ ③を満たしている

◆自己点検評価結果の理由

学科長は博士（理学療法学）の学位を有し、大学の教員歴は15年である。2022年4月1日以前から継続して専任教員を務めており、現在の指定規則、ガイドラインに適合している。
以上から③を満たしているとした。

◆自己評価の根拠となる資料名と表示ページの記入（資料は添付）

①：様式2-1 学科・課程教員表（専任）

◆自己点検評価結果における課題と対応

全基準を満たしているが、次代を想定して教員スタッフの研鑽や研修機会の活用を図りたい。

3	基準Ⅱ-2	教員の要件
---	-------	-------

◆判定基準

- ① 指定規則で定める基準が遵守されている
- ② 専任教員は全員が協会員（JPTA・JAOT・JAS）である
- ③ 専任教員は全員が修士以上の学位を有し、必要な教育・研修修了者である

◆自己点検評価 ○印

- 1 基準を満たしていない
- 2 ①を満たしている
- ③ ①を満たし、②③のどちらかを満たしている
- 4 ①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

①について、学科定員 50 名に対して専任教員 12 名で、いずれも 2022 年 4 月以前より在籍している。専任教員のうち 11 名が臨床経験 5 年以上の理学療法士である。②について、専任教員 12 名のうち、JPTA に所属する教員は 10 名である。③について、専任教員 12 名のうち、修士学位有する者は 12 名、うち博士学位有する者 8 名である。
以上から①と③を満たしているとした。

◆自己評価の根拠となる資料名と表示ページの記入（資料は添付）

①：様式 2-1 学科・課程教員表（専任）

◆自己点検評価結果における課題と対応

①③の基準は満たしているが、長期的視点からは、②の充足に配慮したい。

4	基準Ⅱ-3	教員数と教科目
---	-------	---------

◆判定基準

- ① 指定規則で定める教員数が確保され、実習調整者が配置されている
- ② 担当科目に関連する研究業績のある教員が配置されている
- ③ 指定規則の定数を超える専任教員が配置されている

◆自己点検評価 ○印

- 1 基準を満たしていない
- 2 ①を満たしている
- 3 ①を満たし、②③のどちらかを満たしている

④ ①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

①、③について、学科定員 50 名で専任教員 12 名を配置し、また実習調整者 1 名を配置している。②について、専任教員 12 名中 11 名が担当科目に関連する研究業績を有している。
以上から①②③全てを満たしているとした。

◆自己評価の根拠となる資料名と表示ページの記入（資料は添付）

①、②、③：様式 2-1 学科・課程教員表（専任）

◆自己点検評価結果における課題と対応

全基準を満たしているが、担当科目に関連する研究業績の次代に向けた充実のため、教員の研究環境の維持向上を図りたい。

担当科目に関連する研究業績のない教員は、専門分野がウイメンズヘルスであり、今後期待される分野である。次のカリキュラム変更で授業に取り入れることができるか検討する。

5	基準Ⅱ-4	教育の質
---	-------	------

◆判定基準

- ① 教育・研究・研修規程が整備され、専任教員の業績が公表されている
- ② 授業評価およびFD・SDが実施され、結果が公表されている
- ③ 教育の質の向上に向けた研究・研修への積極的な取り組みが見られる

◆自己点検評価 ○印

- 1 基準を満たしていない
- 2 ①を満たしている
- 3 ①を満たし、②③のどちらかを満たしている

④ ①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

①について、教育については北海道科学大学規定集の「分類2 学事」で、研究・研修については「分類6 研究研修」で規程が整備されている。また専任教員の業績は大学ホームページで公開されている。②について、授業評価として授業アンケートを実施し、結果を大学内で公開している。またFD・SDによるTS（ティーチング・ステートメント）を作成し、大学内で公開している。③について、大学内FDは専任教員の参加が必須として取り組んでいる。

以上から①②③全てを満たしているとした。

◆自己評価の根拠となる資料名と表示ページの記入（資料は添付）

①：学校法人北海道科学大学スタッフ・ディベロップメント規程
 学科教員ティーチング・ステートメント (<https://navi.hus.ac.jp/system/ts/#tstab3>)

②：2021年度 授業アンケート
<https://www.hus.ac.jp/about/assets/documents/public-info/course-eva-2021.pdf>

③：FSDS 実施結果報告書

◆自己点検評価結果における課題と対応

外形的には全基準を満たしているが、③に関して、学外のさまざまな機会への参加を図ることが努力課題と認識している。

6	基準Ⅱ-5	教育のための予算
---	-------	----------

◆判定基準

- ① 入学料・授業料・実習費等は適当な額である
- ② 教育上必要な機械器具や図書購入予算が明示され、計画的に執行されている
- ③ 研究活動のための外部資金導入の努力を行っている

◆自己点検評価 ○印

- 1 基準を満たしていない
- 2 ①を満たしている
- 3 ①を満たし、②③のどちらかを満たしている

④ ①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

①について、他学の理学療法養成校（北海道内私立大学）と比較して概ね平均的な額である（初年度納付金として本学科 1,612,300 円、北海道文教大学作業療法・理学療法学科 1,600,000 円、北海道医療大学リハビリテーション科 1,420,000 円、北海道千歳リハビリテーション大学 1,600,000 円、日本医療大学全学科 1,900,000 円）。また、実習費について、実習施設に支払う謝金、遠隔地で実習するときのアパート代（宿泊料として 1 泊あたり上限 5,000 円）及び遠隔地で実習するときの往復旅費の 60%は学納金（授業料）から予算化されており、実習費を別に徴収していない。②について、毎年学科の教育予算を申請して予算化され、執行されている。③について、文科省科研費などに申請し、採択を受けている。

以上から①②③全てを満たしているとした。

◆自己評価の根拠となる資料名と表示ページの記入（資料は添付）

①：学生募集要項 P51

②：2021 年度予算決定額について

③：2022 年度 科学研究費助成事業の申請状況について
2022 年度 科学研究費助成事業の交付内定状況について

◆自己点検評価結果における課題と対応

外形的には全基準を満たしているが、科目担当の教員からの要望を出し易くし、また、定期的に調査して、教育用備品や研究機材の整備を行いたい。

7	基準Ⅱ-6	教育環境
---	-------	------

◆判定基準

- ① 教育目的達成のための環境が整備されている
- ② 校地校舎等の学修環境の整備と適切な管理・運営が実施されている
- ③ 教育環境の確保・充実に向けた中長期計画が策定されている

◆自己点検評価 ○印

- 1 基準を満たしていない
- 2 ①を満たしている
- 3 ①を満たし、②③のどちらかを満たしている

④ ①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

①、②、③について、教育目的達成のため、学校法人、大学で中長期計画が策定され、校地校舎の学習環境の整備や管理・運営を実施している。
以上から①②③全てを満たしているとした。

◆自己評価の根拠となる資料名と表示ページの記入（資料は添付）

①：ホームページ施設紹介（理学療法学科）
<https://www.hus.ac.jp/about/facility/building-c/#%E7%90%86%E5%AD%A6%E7%99%82%E6%B3%95%E5%AD%A6%E7%A7%91>

②、③：中期事業計画 P23～P24

◆自己点検評価結果における課題と対応

外形的には全基準を満たしているが、とりわけ新型コロナウイルス感染症の蔓延にともなうオンライン教育設備や、学生のための環境整備については、ハード・ソフトの両面から、引き続き課題の確認と対応を進めたい。

様式 8 自己点検評価報告書

8	基準Ⅱ-7	教育設備
---	-------	------

◆判定基準

- ① ガイドラインで定める教室および実習室が整備されている
- ② 教員室（研究室）および個別指導の場が確保されている
- ③ 教育研究内容に対応した機材等が整備されている

◆自己点検評価 ○印

- 1 基準を満たしていない
- 2 ①を満たしている
- 3 ①を満たし、②③のどちらかを満たしている

④ ①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

①について、ガイドラインで定める教室及び実習室を整備している。②について、研究室（教員室）があり、個別指導の場は空き教室を活用するなどして確保している。③について、教育ではガイドラインで定める教材・備品を整備しており、研究では、教員の持つ研究テーマに応じた機材を導入している。

以上から①②③全てを満たしているとした。

◆自己評価の根拠となる資料名と表示ページの記入（資料は添付）

①、②、③：様式 1-1 学校養成施設概要

◆自己点検評価結果における課題と対応

全基準を満たしているが、今後も、教員・学生のニーズの確認と、機材等の整備・更新に努めたい。

9	基準Ⅱ-8	教材・備品
---	-------	-------

◆判定基準

- ① 教育上必要な教材・備品及び専門図書・雑誌が必要数確保されている
- ② 適切な規模の図書室（館）を有し、十分な学術情報資料が確保されている
- ③ 講義・演習等に必要な IT 教育機器や文献検索システムが整備され、適切に運用されている

◆自己点検評価 ○印

- 1 基準を満たしていない
- 2 ①を満たしている
- 3 ①を満たし、②③のどちらかを満たしている
- ④ ①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

①について、ガイドラインで定める教材・備品及び専門図書・雑誌を必要数確保している。②について、大学に図書館を有し、学術情報資料を備えている。③について、各教室にプロジェクター、LAN 接続を配置し、また一部教室には複数教室同時配信システムを設置している。学内 LAN システムは同時接続数約 4000 で、全学的な授業の実施に耐えるようになっている。Zoom、Google ツール、Microsoft Office などのソフトウェアやアプリケーションを学生、教職員が利用できる。また文献検索システム（医中誌、メディカルオンラインなど）について、学生、教員が利用できるようにしている。

以上から①②③全てを満たしているとした。

◆自己評価の根拠となる資料名と表示ページの記入（資料は添付）

①：様式 1-1 学校養成施設概要

②：北海道科学大学図書館施設紹介
<https://www.hus.ac.jp/library/overview/>

◆自己点検評価結果における課題と対応

全基準を満たしているが、教員・学生のニーズを確認し、教材・備品、ならびに専門図書・雑誌、IT 教育機器や文献検索システム等の整備・更新に努めたい。

10	基準Ⅲ-1	ハラスメント対策
----	-------	----------

◆判定基準

- ① ハラスメントの規程が整備され、公表されている
- ② ハラスメント防止を目的とした研修会が定期的に行われている
- ③ 全教職員、臨床実習施設職員、保護者等への周知・啓発が行われている

◆自己点検評価 ○印

- 1 基準を満たしていない
- ② ①を満たしている
- 3 ①を満たし、②③のどちらかを満たしている
- 4 ①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

①について、ハラスメントの規程が整備され、大学のホームページでハラスメントのガイドラインとして公表されている。②について、FD 研修会で講演会として実施済みだが定期的に行っていない。③について、全教職員には規程を示し、臨床実習施設職員（臨床実習指導者）には臨床実習実施要項に記載した上で実習指導者会議において周知をはかっている。一方、保護者等への周知・啓発は実施されていない。

上から①を満たしているとした。

◆自己評価の根拠となる資料名と表示ページの記入（資料は添付）

①：北海道科学大学ハラスメント対策に関する規程
ハラスメントガイドライン
<https://www.hus.ac.jp/about/project/guideline/>

◆自己点検評価結果における課題と対応

①の基準は満たしているが、②③については、ハラスメントに関する教員研修の定期開催と、学生や保護者等への説明に配慮する必要がある。

大学としての取り組み体制の整備とともに、学科においても、少なくとも年度はじめの各学年ガイダンスや保護者会での説明を確実に実施することとする。

11	基準Ⅳ-1	入学者の選考
----	-------	--------

◆判定基準

- ① 選考要項が整備され、公表されている
- ② 学則に定められた学生の定員が守られている
- ③ アドミッションポリシーに基づいた選考が行われている

◆自己点検評価 ○印

- 1 基準を満たしていない
- 2 ①を満たしている
- ③ ①を満たし、②③のどちらかを満たしている
- 4 ①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

①について、アドミッションポリシーに入学者選抜方法における評価の項目、評価の比重を示している。②について、学科収容定員 180 名に対して在籍者数 213 名で、収容定員の 1.19 倍の在籍者となっている。③について、アドミッションポリシーに基づいた選抜を実施している。以上から①と③を満たしているとした。

◆自己評価の根拠となる資料名と表示ページの記入（資料は添付）

①、③：学生募集要項（P5 アドミッション・ポリシー頁）
 ②：様式 1-2 学校養成施設概要

◆自己点検評価結果における課題と対応

①③の基準は満たしているが、②については、入学試験の各回における合否判定と辞退者の予測が難しいことから定員を上回る傾向にある。少なくとも、選考方法の公正な実施とアドミッションポリシーの周知に努め、適正な定員の遵守を図りたい。

12	基準Ⅳ-2	生活・学修支援
----	-------	---------

◆判定基準

- ① 生活・学修支援体制が整備されている
- ② 生活・学修支援に関する学生の意見・要望を把握・分析し、適切に実施されている
- ③ 障がいのある学生や留学生に対する支援体制が整備されている

◆自己点検評価 ○印

- 1 基準を満たしていない
- 2 ①を満たしている
- 3 ①を満たし、②③のどちらかを満たしている
- ④ ①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

①について、ポートフォリオ・PF 面談（教員による学生面談）を1～3年生には年4回、4年生には年1回実施し、学習や生活の助言、指導をしている。理学療法学科ではPF面談の際に「理学療法士になりたい気持ち」を10段階で示してもらい、学生の理学療法士を目指す意欲を確認し、学修指導に活かしている。②について、PF面談結果を教員間で共有し、学生の生活・学習支援をフォローしている。③について、障がいのある学生に対しては「北海道科学大学障がい学生支援基本方針」をもとに支援に関する申し合わせを策定し、入学志願者の事前相談から、入学後の生活・学習支援に対応している。留学生に対しては私費外国人留学生を対象にした授業料減免制度を設置し、経済的負担の軽減に対応している。

以上から①②③全てを満たしているとした。

◆自己評価の根拠となる資料名と表示ページの記入（資料は添付）

①、②：ポートフォリオ・PF 面談
<https://navi.hus.ac.jp/support/support/>

③：北海道科学大学私費外国人留学生授業料減免規程
 北海道科学大学障がい学生支援基本指針
 北海道科学大学障がい学生の支援に関する申し合わせ

◆自己点検評価結果における課題と対応

外形的には全基準を満たしており、本学では、「ポートフォリオ・PF 面談」を活用して学生への生活・学習支援の充実に努めている。

③については、要支援状況が多様多様であることから、学外研修への参加や、他大学の支援成果を参照して支援方策の向上を図りたい。

13	基準Ⅳ-3	教育課程
----	-------	------

◆判定基準

- ① 指定規則、ガイドラインに定められているカリキュラムが整備されている
- ② 講義概要、学生便覧が整備・公表され、適正に運用されている
- ③ 教育課程を可視化するなど、修学向上への工夫・改善が見られる

◆自己点検評価 ○印

- 1 基準を満たしていない
- 2 ①を満たしている
- 3 ①を満たし、②③のどちらかを満たしている

④ ①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

①について、新指定規則に基づき、2019年文科省に変更申請し受理された内容のカリキュラムで教育を進めている。②、③について、シラバスなどを大学ホームページの理学療法学科教務ブックで整備・公表し、運用している。教務ブックではカリキュラムマップ、カリキュラムフローも提示し、教育課程を可視化している。

以上から①②③全てを満たしているとした。

◆自己評価の根拠となる資料名と表示ページの記入（資料は添付）

①、②、③：理学療法学科教務ブック

<https://navi.hus.ac.jp/system/iryo/rigaku/>

◆自己点検評価結果における課題と対応

外形的には全基準を満たしているが、種々の指導場面において、カリキュラムマップやカリキュラムフローの一層の活用を進めたい。

14	基準Ⅳ-4	教育内容
----	-------	------

◆判定基準

- ① 改正カリキュラムが適正に運用されている
- ② 定期的カリキュラムの検討・見直しが行われている
- ③ 特色ある教育プログラムを有している

◆自己点検評価 ○印

- 1 基準を満たしていない
- 2 ①を満たしている
- 3 ①を満たし、②③のどちらかを満たしている

④ ①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

①について、改正した指定規則に基づいて整備したカリキュラムを運用している。②について、大学内自己点検で、カリキュラム点検を毎年実施している。③について、全学で HUS 数理・データサイエンス・AI 教育プログラムを実施し、授業科目のうち「情報処理法」、「データサイエンス」、「統計分析法」を必修化している。

以上から①②③全てを満たしているとした。

◆自己評価の根拠となる資料名と表示ページの記入（資料は添付）

①：シラバス P52～P59（教育課程表）

②：学科教育自己点検レポート

③：北海道科学大学 数理・データサイエンス・AI 教育プログラムについて
<https://www.hus.ac.jp/news/detail/data-science-13643/>

◆自己点検評価結果における課題と対応

全基準を満たしているが、社会人、医療人としての資質向上も視野に、教育内容の充実に努めたい。

15	基準IV-5	教育方法
----	--------	------

◆判定基準

- ① 講義概要に教育方法を明記し、適切に運用されている
- ② 講義・演習・実習が効果的に組み合わせられている
- ③ 授業方法の工夫・開発に取り組んでいる

◆自己点検評価 ○印

- 1 基準を満たしていない
- 2 ①を満たしている
- 3 ①を満たし、②③のどちらかを満たしている

④ ①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

①について、シラバスに教育方法を記載し、運用している。②について、講義科目から演習科目、実習科目へとつながる構成にしている。③について、動画教材による反転授業や、グループワーク（アクティブラーニング）などを取り入れている。
以上から①②③全てを満たしているとした。

◆自己評価の根拠となる資料名と表示ページの記入（資料は添付）

- ①、③：シラバス P236～P237 『理学療法概論』（一例）
- ②：シラバス P14～P25（カリキュラムフロー）

◆自己点検評価結果における課題と対応

外形的には基準を満たしているが、講義・演習の組み合わせや授業方法など、学生からの要望・反応も視野に、確認や見直しの重要性を認識して充実を図りたい。

16	基準Ⅳ-6	成績評価
----	-------	------

◆判定基準

- ① 評価基準、方法を明記した文書を有している
- ② 授業科目内容に合致した（客観的）評価方法により実施されている
- ③ 単位認定、進級・卒業認定、修了認定基準を適切に定め、厳正に適用されている

◆自己点検評価 ○印

- 1 基準を満たしていない
- 2 ①を満たしている
- 3 ①を満たし、②③のどちらかを満たしている

④ ①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

①について、成績評価ガイドラインに基づいて、シラバスに評価基準や方法を具体的に記載している。②について、各授業科目の評価方法はシラバスに基づいて記載している。③について、教務ブックに進級・卒業要件を掲載して公表している。

以上から①②③全てを満たしているとした。

◆自己評価の根拠となる資料名と表示ページの記入（資料は添付）

①：成績評価ガイドライン

<https://navi.hus.ac.jp/upload/files/pdf/system/gakubu-grade-guidelines.pdf>

②：シラバス P236 『理学療法概論』（一例）

③：教務ブック進級・卒業基準

<https://navi.hus.ac.jp/upload/files/pdf/system/2014/newdep/guide06.pdf>

◆自己点検評価結果における課題と対応

全基準を満たしており、②については、卒業研究はシラバス記載の評価方法に基づいてルーブリック評価を取り入れている。

臨床実習については、旧カリキュラムでは実習指導者による評価を4割、科目担当教員の評価を6割とし、事後指導の実習報告会の内容を点数化して評価としている。新カリキュラムでは科目担当教員の評価により、実習の実施状況、事後指導の実習報告会等の内容を点数化して評価している。

臨床実習の詳細な（客観的）評価方法に関し、より客観性を担保できるように、配慮すべき事象として教員間で検討してきている。

17	基準Ⅳ-7	臨床教育
----	-------	------

◆判定基準

- ① 指定規則に基づいた臨床教育が計画・実施されている
- ② OSCE（客観的臨床能力試験）を導入し、評価・単位認定を行っている
- ③ 先進的な臨床教育プログラムを取り入れている

◆自己点検評価 ○印

- 1 基準を満たしていない
- 2 ①を満たしている
- 3 ①を満たし、②③のどちらかを満たしている

④ ①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

①について、指定規則に基づいた臨床教育の計画を立て進めている。②について、3年前期「理学療法評価学総合演習」（理学療法評価学臨床実習前）で模擬患者実技試験(OSCE)を実施して評価・単位認定を行っている。③について、臨床実習の学内対応としてオンラインで実習指導者から学生が作成したサマリーや質問事項についてのフィードバックを実施した。また、2年前期「神経障害学」では、オンデマンドで視聴可能な動画を設定し、予習に用いる反転学習を実施している。また、3年前期「中枢神経系理学療法学演習Ⅰ」の学内実習では、片まひ者にご協力いただき、評価や治療方法を検討する授業を実施している。

以上から①②③全てを満たしているとした。

◆自己評価の根拠となる資料名と表示ページの記入（資料は添付）

①：年次別実習計画
 ②：模擬患者実技試験要項
 ③：「神経障害学」、「中枢神経系理学療法学演習Ⅰ」シラバス

◆自己点検評価結果における課題と対応

全基準を満たしており、②OSCEについては、学外PTに評価者を依頼している。

クリニカル・クラークシップ（診療参加型実習）へ移行中のため（今年度の4年生「総合実習」は従来型、3年生「評価実習」から診療参加型）、「臨床実習実施要項」を改訂し、学生に対して診療参加型における臨床学習への取り組み方を提示して指導を行っている。

18	基準Ⅳ-8	臨床実習
----	-------	------

◆判定基準

- ① 指定規則、ガイドラインで定める基準が遵守されている
- ② 臨床実習が適切な年次に配置され偏りなく実施されている
- ③ 特色ある臨床実習プログラムを取り入れている

◆自己点検評価 ○印

- 1 基準を満たしていない
- 2 ①を満たしている
- 3 ①を満たし、②③のどちらかを満たしている

④ ①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

①について、指定規則、ガイドラインに基づいた基準で臨床実習を実施している。②について、1年生で理学療法臨床見学実習（1単位）、2年生で地域理学療法学臨床実習（通所または訪問リハビリテーション用）（1単位）、3年生で理学療法評価学臨床実習（6単位）、4年生で理学療法総合臨床実習Ⅰ・Ⅱ（各6単位）を学年の進行に合わせて配置している。③について、理学療法評価学臨床実習の期間を6週間とすることで、臨床に慣れること、患者や対象者へのリスク管理などについて学びを深めてから理学療法評価について学ぶプログラムを取り入れている。

以上から①②③全てを満たしているとした。

◆自己評価の根拠となる資料名と表示ページの記入（資料は添付）

①、②、③：年次別実習計画、臨床実習実施要項

◆自己点検評価結果における課題と対応

全基準を満たしており、本学科では「地域実習」を2学年に配置して、地域の生活者を対象とする理学療法について、関連制度を踏まえて理解することを目指している。

クリニカル・クラークシップへ移行中のため（今年度の4年生「総合実習」は従来型、3年生「評価実習」から診療参加型）、新指定規則の完成年次に成果と改善点を確認したい。

19	基準IV-9	臨床実習施設との連携
----	---------------	-------------------

◆判定基準

- ① 定期的に臨床実習指導者会議を開催し、議事録が共有されている
- ② 実習の前後を含め施設と密な連携が取られている
- ③ 専任教員が適時臨床実習に参加し、指導している

◆自己点検評価 ○印

- 1 基準を満たしていない
- 2 ①を満たしている
- ③ ①を満たし、②③のどちらかを満たしている
- 4 ①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

①について、定期的に実習指導者会議を開催し、議事録を残している。②について、実習施設に対して連絡先を明示しており、また緊急携帯電話を設置し、実習の前後、実習中に随時連絡を取り合っている。理学療法評価学臨床実習（6単位）、理学療法総合臨床実習Ⅰ・Ⅱ（各6単位）については、実習期間中に最低1回専任教員が実習訪問指導をしている。新型コロナの影響で、昨年度は電話での対応となった。③について、実習に難渋する学生に対して、実習指導者と連絡を取り合った上で指導をしている。

以上から①②を満たしているとした。

◆自己評価の根拠となる資料名と表示ページの記入（資料は添付）

①：実習指導者会議次第、議事録
 ②：臨床実習実施要項（基準IV-8と同様）

◆自己点検評価結果における課題と対応

①②の基準は満たしているが、③については、新型コロナウイルス感染症の蔓延の影響で施設訪問が容易でなく、教員が臨床場面に参画する指導は、実習に苦渋する学生に対する場合に限定されている。実習指導者とは密に連携を取っており、各実習施設における新型コロナウイルス感染症対策の状況をみながら、教員の施設訪問を介した指導の復元を図りたい。

20	基準IV-10	臨床実習施設の条件
----	----------------	------------------

◆判定基準

- ① 指定規則、ガイドラインに定められた臨床実習が実施されている
- ② 臨床実習施設としての設備・スタッフが備えられている
- ③ 協会認定または病院機能評価等の認定施設が 50%以上確保されている

◆自己点検評価 ○印

- 1 基準を満たしていない
- ② ①を満たしている
- 3 ①を満たし、②③のどちらかを満たしている
- 4 ①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

①について、指定規則、ガイドラインに定められた臨床実習を実施している。②について、現状では学科で主たる実習施設を設けていないこと、また学科で登録されている実習施設において、主たる実習施設にある設備・スタッフの有無については調査を未実施であり、回答が困難である。③について、実習施設に調査依頼し、回答を得られた情報から、病院機能評価等の認定施設は、延べ数の比率として見学実習用 49 施設中 12 施設、評価実習用 42 施設中 13 施設、総合臨床実習用 77 施設中 25 施設、通所または訪問リハビリテーション用 21 施設中 1 施設で、計 189 施設中 51 施設となり、27.0%である。よって実習施設が協会認定あるいは病院機能評価等の認定施設は 50%以上確保されていない。

以上から①を満たしているとした。

◆自己評価の根拠となる資料名と表示ページの記入（資料は添付）

①：臨床実習実施要項（基準IV-8 と同様）

③：様式 5-1～5-4 臨床実習指導者表

◆自己点検評価結果における課題と対応

①は満たしているが、②③の充足は部分的である。

実状として、本学科からの実習生受け入れに承諾が得られた施設を臨床実習施設としている。診療報酬制度に適合する理学療法を実施していることのほかは、当面、疾患・病期・年齢層に偏りなく学生の配置を勘案できることを優先せざるを得ないため、長期的な課題として留意したい。

21	基準Ⅳ-11	臨床実習施設の数と種別
----	--------	-------------

◆判定基準

- ① 指定規則、ガイドラインで定める施設基準が遵守されている
- ② 各障がい・病期・年齢層を偏りなく対応できる能力を培う実習施設が確保されている
- ③ 主たる臨床実習施設が確保されている

◆自己点検評価 ○印

- 1 基準を満たしていない
- 2 ①を満たしている
- ③ ①を満たし、②③のどちらかを満たしている
- 4 ①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

①について、指定規則、ガイドラインで定める施設基準（医療提供施設、医療機関）を遵守している。②について、登録実習施設に調査依頼し回答を得られた情報から、領域区分は、見学実習用 49 施設、評価実習用 42 施設、総合臨床実習用 77 施設、通所または訪問リハビリテーション実習用 21 施設の総計（延べ数）189 施設中、①運動器障害 78 (41.3%)、②神経系障害 71 (37.6%)、③内部障害 20 (10.6%)、④地域リハビリ等 20 (10.6%) の構成となっている。それぞれの実習では少なくとも全ての領域が1つ以上あり、総計による領域の比率も偏りなく対応ができています。また、学生の実習配置も特定の領域が偏らないように配慮している。③について、主たる実習施設を確保していない。

以上から①と②を満たしているとした。

◆自己評価の根拠となる資料名と表示ページの記入（資料は添付）

①：様式 4、学生配置表
 ②：様式 5-1～5-4、臨床実習指導者表

◆自己点検評価結果における課題と対応

①は満たしており、②についても偏りなく実習学習ができるように配慮している。

③については、本学の臨床実習教育に理解・協力を頂ける施設との関係強化に努めているのが実状である。学生の特性や学習状況に応じた実習施設（数・種別）の確保が努力課題と認識している。

22	基準IV-12	臨床実習指導者
----	---------	---------

◆判定基準

- ① ガイドライン等で定める基準が遵守されている
- ② 臨床経験5年を超える指導者が30%以上を占める
- ③ 専門・認定有資格者が30%以上を占める

◆自己点検評価 ○印

- 1 基準を満たしていない
- 2 ①を満たしている
- 3 ①を満たし、②③のどちらかを満たしている
- ④ ①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

①について、2022年度は理学療法評価学臨床実習が新指定規則対応の実習となる。臨床実習指導者表（登録実習施設に調査依頼し回答を得られた情報（2022年5月末日時点））から、履修学生43名に対して、指定講習受講済み指導者は41名となった。そこで実習登録施設に依頼をして実習指導者講習の受講を依頼し、実習前に受講の予定である。それらを合わせて履修学生分の実習指導者を確保している。②、③について、臨床実習指導者表から、見学実習用49名（専門・認定18名）、評価実習用42名（同21名）、総合臨床実習用77名（同34名）、通所または訪問リハビリテーション実数用21名（同7名）で、全員が臨床経験5年以上で、専門・認定有資格者は189名中80名で42.3%である。

以上から①②③全てを満たしているとした。

◆自己評価の根拠となる資料名と表示ページの記入（資料は添付）

①、②、③：様式5-1～5-4 臨床実習指導者表（基準IV-11と同様）

◆自己点検評価結果における課題と対応

全基準を満たしているが、臨床実習指導者の指導者資格取得とともに、専門・認定資格の取得についても実習施設に働きかけを行い、学生のために優れた実習環境の確保を図りたい。

23	基準 V-1	教育成果
----	--------	------

◆判定基準

- ① 教育成果の点検・評価結果が学生に FB されている
- ② 学業達成率が 80%以上である
- ③ 新卒者の国家試験合格率が全国平均以上である（過去 3 年間の平均値）

◆自己点検評価 ○印

- 1 基準を満たしていない
- 2 ①を満たしている
- 3 ①を満たし、②③のどちらかを満たしている
- ④ ①②③全てを満たしている

◆◆自己点検評価結果の理由

①について、学生の授業評価アンケート、卒業時アンケート結果を学生に公開し、またその回答を授業改善に活かしている。②について、昨年度卒業生について 2018 年度入学者 49 名、2021 年度卒業生 34 名で学業達成率は 82.9%となった。③について、新卒者の国家試験合格率は 2021 年度 97.1%、2020 年度 96.9%、2019 年度 100%で、過去 3 年間の平均値は 98.0%であり、合格率は全国平均以上となっている（全国新卒合格率 2021 年度 88.1%、2020 年度 86.4%、2019 年度 93.2%）。以上から①②③全てを満たしているとした。

◆自己評価の根拠となる資料名と表示ページの記入（資料は添付）

① : 2021 年度 授業アンケート
<https://www.hus.ac.jp/about/assets/documents/public-info/course-eva-2021.pdf>

②、③ : 国家試験合格状況一覧（2019～2021 年度）
<https://www.hus.ac.jp/academics/nationalexam-passrate/fac-health/>

◆自己点検評価結果における課題と対応

全基準を満たしているが、②については、入学後の進路変更等に象徴される指導の難しさを内包している。学生個々の学力把握とともに、本学の特徴である生活・学習支援（「ポートフォリオ・PF 面談」の実施）を活かし、特別な対応が必要な学生には、教員間で情報を共有して、継続的に一貫性のある対応指導を進めたい。

24	基準VI-1	社会貢献
----	--------	------

◆判定基準

- ① 個人レベルで実施されている
- ② 学科・専攻レベルで実施されている
- ③ 学校養成施設レベルで組織的に取り組まれている

◆自己点検評価 ○印

- 1 基準を満たしていない
- 2 ①②③のうち一つを満たしている
- 3 ①②③のうち二つを満たしている
- ④ ①②③の全てを満たしている

◆◆自己点検評価結果の理由

①について個人5件（学生1名1件、教員2名4件）の活動を実施した。②について学科1件（学生8名1件、教員1名1件）の活動を実施した。③について大学4件（学生568名（他学科の学生含む）2件、教員3名3件）の活動を実施した。
 以上から①②③全てを満たしているとした。

◆自己評価の根拠となる資料名と表示ページの記入（資料は添付）

①、②、③：小樽市HP紹介記事
 大学広報誌「NEWS LETTER」
 北海道スポーツ協会・開催要領
 北海道中小企業同友会・リーフレット

◆自己点検評価結果における課題と対応

全基準を満たしているが、教員間でも各種の活動への理解と協力を図り、さまざまな社会的ニーズに応え、また発信していけるように、調整・努力を継続したい。

25	基準Ⅶ-1	内部質保証
----	-------	-------

◆判定基準

- ① 第三者による外部評価を受審し、結果を公表している
- ② 定期的に自己点検評価を実施し、課題改善に努めている
- ③ 学部・学科・専攻全体の PDCA サイクルの確立とその活用が図られている

◆自己点検評価 ○印

- 1 基準を満たしていない
- 2 ①を満たしている
- 3 ①を満たし、②③のどちらかを満たしている

④ ①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

①について、2021 年度に機関別認証評価を受審し、適合の判定を受けた。2022 年 3 月に公益社団法人日本高等教育評価機構より公表されている。②について、自己点検評価を実施している。③について、PDCA サイクルに基づいた自己点検評価を実施している。
以上から①②③全てを満たしているとした。

◆自己評価の根拠となる資料名と表示ページの記入（資料は添付）

①、②、③：外部評価、自己点検評価、組織体制及び PDCA サイクル
<https://www.hus.ac.jp/about/project/evaluation/>

◆自己点検評価結果における課題と対応

外形的には全基準を満たしているが、今後も自己点検評価や FD 等への教員の積極的な参画を促進し、また、教員が順次、関係組織の委員等を経験・関与していくことで、内部質保障への認識を高めたい。